

令和3年度

事業報告書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

大阪府箕面市稲4丁目1番2号

一般財団法人 蛋白質研究奨励会

目 次

I.	事業の状況	2
1.	公益目的事業に関する事項	2
(1)	一般研究に対する助成	2
(2)	蛋白質に関する研究者養成に対する助成	2
(3)	蛋白質に関する優れた研究に対する支援	3
(4)	蛋白質に関する学会及び関連セミナー・講演会等開催への助成	4
(5)	研究支援事業	6
2.	収益事業に関する事項	6
(1)	レンタルサーバー等事業	6
(2)	建物等賃貸事業	7
(3)	学会等事務代行事業	7
(4)	受託事業	7
(5)	ケンブリッジ結晶構造データベース利用に関する事務代行事業	7
II.	処務の概要	8
1.	理事・監事に関する事項	8
(1)	理事	8
(2)	監事	8
(3)	顧問	8
2.	評議員に関する事項	9
(1)	評議員	9
3.	賛助会員及び会費に関する事項	9
4.	会議に関する事項	10
(1)	第1回 理事会 令和3年5月25日(火)	10
(2)	第2回 理事会 令和4年3月14日(月)	11
(3)	第1回 評議員会 令和3年6月25日(金)	11
5.	許可・認可・承認・証明等に関する事項	12
6.	契約に関する事項	12
7.	寄付に関する事項	12

I. 事業の状況

1. 公益目的事業に関する事項

蛋白質に関する研究の助成及び奨励について、従来どおり下記のごとく助成事業および支援事業を行いました。

(1) 一般研究に対する助成

大阪大学蛋白質研究所の研究部門及び研究センターに対し 2,003,579 円の助成を行いました。

蛋白質化学研究部門

蛋白質構造生物学研究部門

蛋白質高次機能学研究部門

蛋白質ネットワーク生物学研究部門

蛋白質次世代構造解析センター

(2) 蛋白質に関する研究者養成に対する助成

蛋白質に関する研究者養成のための助成として、大阪大学蛋白質研究所若手研究者 2 名に対し、赤堀・鈴木奨学金を支給しました。

支給総額 1,920,000 円

氏名	研究課題	支給額 (円)	期間
朱 慧彬	誘導化による生体エイコサノイド及び小分子量脂肪酸の一斉分析法の開発	960,000	R3.4.1~R4.3.31
趙 雪洋	Analysis of protein translocation across the chloroplast inner envelope membrane	960,000	R3.4.1~R4.3.31

(3) 蛋白質に関する優れた研究に対する支援

蛋白質に関する優れた研究に対して支給する金子・成田研究奨励金は、選考委員会において選考の結果、次の6名に決定し、それぞれ80万円を支給しました。

支給総額 4,800,000 円

氏名	所属	研究題目
有森 貴夫	大阪大学 蛋白質研究所 分子創製学研究室	哺乳動物細胞発現系による 高効率生産を目指した Fv- clasp のデザインの改変
森本 大智	京都大学大学院 工学研究科	止血タンパク質フォン・ヴ ィレブランド因子の流体力 学的ストレスによる構造変 化の解析
川本 晃大	大阪大学 蛋白質研究所 蛋白質結晶学研究室	2種類の腸炎ビブリオIII型 分泌系による蛋白質分泌機 構の解明
荒木 望嗣	京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻	精密な分子シミュレーショ ンに基づく個別遺伝子タイ プの機能的意義の推定
好岡 大輔	大阪大学大学院 医学系研究科 統合生理学教室	イノシトールリン脂質 PIP2によるイオンチャネ ルの活性化と動態変化の相 関
伊藤 寛晃	東京大学大学院 薬学系研究科 天然物合成化学教室	芳香族アミノ酸の精密配向 改変と大規模構造活性相関 に基づく分子機能制御

(4) 蛋白質に関する学会及び関連セミナー・講演会等開催への助成

- 以下の学会に対して助成を行いました。

助成金額 1,500,000 円

学 会 名	費 目	金 額(円)
日本ペプチド学会	学術会議開催助成金	500,000
日本ペプチド学会	学会運営助成金	500,000
一般社団法人日本蛋白質科学会	学会運営助成金	500,000

- 大阪大学蛋白質研究所が主催するセミナー・講演会等の開催を支援しました。

セミナー・講演会

	開催年月日	課 題	世 話 人
1	令和3年6月24日、25日	CiCLE 単粒子解析リモート講習会	加藤貴之 (大阪大学) 田中秀明 (大阪大学) 牧野文信 (日本電子) 岸川淳一 (大阪大学) 川端 猛 (PRF)
2	令和3年8月30日、31日	Antibody engineering with AI towards next generation drug discovery	内山 進 (大阪大学) 守屋隆一 (アステラス製薬) 白井宏樹 (アステラス製薬)
3	令和3年9月21日	第69回 SPring-8 先端利用技術ワークショップ：SPring-8 における蛋白質構造生物学研究の現状と将来	沼本修孝 (東京医歯大) 熊坂 崇 (JASRI) 山本雅貴 (理研 RSC) 山下栄樹 (大阪大学) 栗栖源嗣 (大阪大学) 中川敦史 (大阪大学)
4	令和3年9月30日	BINDS-PDBj 講習会「PDB から見てわかるタンパク質の最新研究」	栗栖源嗣 (大阪大学)
5	令和3年10月16日	第5回感覚フロンティア研究シンポジウム	津田 誠 (九州大学) 古川貴久 (大阪大学)

			日比野浩（大阪大学） 栗原俊英（慶応義塾大学）
6	令和3年10月19日	高次脳機能学セミナー	疋田貴俊（大阪大学）
7	令和3年11月24日	PDB アジア地区 50 周年 記念シンポジウムーアジ ア地区構造生物学の最先 端と Protein Data Bank 50 年の歩み	栗栖源嗣（大阪大学） 藤原敏道（大阪大学）
8	令和3年12月13日	多様なドーパミン神経伝 達から脳を探る	疋田貴俊（大阪大学） 小澤貴明（大阪大学） Tom Macpherson（大阪大学） 松本正幸（筑波大）
9	令和3年12月13日、14日	基礎から学ぶ最新 NMR 解析法 第3回ワークシ ョップーNMR 試料の調 製ー	八木宏昌（理研 R） 齋尾智英（徳島大学） 竹内恒（東京大学） 宮ノ入洋平（大阪大学）
10	令和4年1月21日	2021 年度 AMED BINDS セミナー	宮ノ入洋平（大阪大学）
11	令和4年1月25日	2021 年度蛋白質研究所 クライオ電子顕微鏡セミ ナー	加藤貴之（大阪大学） 久武 瞳（大阪大学）
12	令和4年3月11日	生殖細胞・減数分裂研究 の過去・現在・未来	篠原彰（大阪大学）
13	令和4年3月12日	生殖細胞・減数分裂研究 の最前線	篠原彰（大阪大学）

国際シンポジウム

	開催年月日・場所	課 題	世 話 人
1	令和3年9月14日、 15日	The 4th ASEAN Microbial Biotechnology Conference / The 3rd Molecular and Cellular Life Science conference	Genji KURISU Atsushi NAKAGAWA Kazuhito FUJIYAMA

(5) 研究支援事業

● ペプチド関連統合データベース構築

文献データベース (PRF/LITDB)、配列データベース (PRF/SEQDB)、化合物データベース (PRF/SYNDB)、ペプチド成熟構造データベース (PRF/PEPDB)を構築し、提供しました。

令和4年3月31日現在のデータベース登録件数はそれぞれ PRF/LITDB: 809,490 件、PRF/SEQDB: 1,392,774 件、PRF/SYNDB: 297,801 件、PRF/PEPDB: 11,456 件です。

今年度のペプチド関連統合データベースへのインターネット上での利用頻度は、約 9,000 件に及びました。

● データベースに関する研究協力について

医薬基盤・健康・栄養研究所プロテオームリサーチプロジェクトとの共同研究として「タンパク質リン酸化部位データベース」構築に引き続き協力しました。また、「受託解析支援システム」の構築に協力しました。

● PRF/LitCloud サービスについて

研究者がそれぞれ独自の文献データベースを構築・利用するため PRF/LitCloud サービスの提供を継続しました。

● Peptide Information の発行について

ペプチド・タンパク質関連文献2次情報誌 (Peptide Information)を継続して発行しました。

2. 収益事業に関する事項

公益事業活動の健全な運営を維持するために、以下の事業を行いました。

(1) レンタルサーバー等事業

当財団のサーバー室に設置しているサーバーシステムの賃貸を行いました。また、当財団で構築している各種のインターネット基盤システムの賃貸を行いました。あわせて、レンタルサーバーの維持管理とサーバー利用に関する指導を行いました。

(2) 建物等賃貸事業

駐車スペースの一部を月極駐車場として運営を行いました。

(3) 学会等事務代行業

以下の団体の事務業務の代行業を行いました。

- 一般社団法人日本蛋白質科学会
- 日本ペプチド学会
- 赤堀コンファレンス協会
- MA-T 学会

(4) 受託事業

データベース構築や検索システムの開発に関して幅広い関係機関に対する支援を行いました。各種のデータベース構築に関する支援を積極的にすすめました。

(5) ケンブリッジ結晶構造データベース利用に関する事務代行業

ケンブリッジ結晶構造データベース利用に関する帳票発行、請求、支払い等の事務代行業を行いました。

II. 処務の概要

1. 理事・監事に関する事項

(1) 理事

定数 3～5名 任期 2年 現員 4名 (令和4年3月31日現在)

役職	氏名	就任年月日	重任年月日	登記年月日	担当	現職名
理事	長谷俊治 (常勤)	R2.6.19		R2.6.26	総括	
理事	南竹義春 (非常勤)	H25.4.1	R3.6.25	R3.7.27		第一三共株式会社 顧問
理事	中川敦史 (非常勤)	H29.6.6	R3.6.25	R3.7.27		大阪大学蛋白質研 究所 教授
理事	赤路健一 (非常勤)	H30.6.22	R3.6.25	R3.7.27		京都薬科大学 副 学長

(2) 監事

定数 2名 任期 4年: 現員 1名 (令和4年3月31日現在)

氏名	就任年月日	重任年月日	現職名
木村 宏 (非常勤)	H29.6.7	R3.6.25	

(3) 顧問

現員 1名 (令和3年3月31日現在)

氏名	就任年月日	重任年月日	現職名
常見 雅彦 (非常勤)	R1.5.22	R3.6.25	株式会社ペプチド研究所 代表取締役社長

2. 評議員に関する事項

(1) 評議員

定数 3～5名 任期 4年 現員 5名

(令和4年3月31日現在)

氏名	就任年月日	重任年月日	登記年月日	現職名
高橋 里美	H25.4.1	R3.6.30	R3.7.27	株式会社カネカ 元常務取締役
中村 春木	H26.6.24	R3.6.30	R3.7.27	大阪大学 名誉教授
深瀬 浩一	H26.6.2	R3.6.30	R3.7.27	大阪大学大学院理学研究科 教授
開 祐司	H28.6.2	R3.6.30	R3.7.27	京都大学 名誉教授
相本 三郎	R3.6.30		R3.7.27	大阪大学 名誉教授

3. 賛助会員及び会費に関する事項

総合計 1,250,000円

会員名	年会費(円)
株式会社ペプチド研究所	300,000
株式会社カネカ	100,000
旭化成ファーマ株式会社	300,000
第一三共株式会社	300,000
トーアエイヨー株式会社	50,000
持田製薬株式会社	200,000

4. 会議に関する事項

(1) 第1回 理事会 令和3年5月25日(火)

議事の経過

Web会議システム(Zoom)を利用し行った。出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

議 事 事 項	結 果
第1号議案 令和2年度事業報告書について	承認された。
第2号議案 令和2年度財務諸表について	承認された。
第3号議案 令和2年度公益目的支出計画実施報告書について	承認された。
第4号議案 令和3年度第1回評議員会の開催について	令和3年6月25日に開催することが了承された。
第5号議案 評議員会に推薦する理事候補について	了承された。
その他 監事の重任について	了承された。
顧問の重任について	了承された。

(2) 第2回 理事会 令和4年3月14日(月)

議事の経過

Web会議システム(Zoom)を利用し行った。出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

議 事 事 項	結 果
第1号議案 令和4年度事業計画書及び収支予算書 について	承認された。
第2号議案 令和4年度第1回評議員会開催につい て	令和4年6月21日(火)に開催す ることが了承された。

(3) 第1回 評議員会 令和3年6月25日(金)

議事の経過

Web会議システム(Zoom)を利用し行った。出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

議 事 事 項	結 果
第1号議案 令和2年度事業報告書について	承認された。
第2号議案 令和2年度財務諸表について	承認された。
第3号議案 評議員の選任について	承認された。
第4号議案 理事・監事の選任について	承認された。

5. 許可・認可・承認・証明等に関する事項

なし

6. 契約に関する事項

なし

7. 寄付に関する事項

受入件数：2件

金額：4,481,132 円

(単位：円)

寄 付 者	寄 付 の 目 的	受 入 金 額
株式会社ペプチド研究所	当財団事業目的遂行のため	4,000,000
大阪大学	奨学寄附金の管理移管	481,132